



山口市

報道資料

令和7年10月17日

1 件 名	山口市文化財審議会の答申について
2 日 時	令和7年10月17日(金)
3 内 容	令和7年10月17日(金)に開催した山口市文化財審議会において、下記の山口市指定文化財の指定が答申されました。 これを受けて、10月28日(火)に開催予定の山口市教育委員会定例会での審議を経て、指定が決定する見込みです。なお、指定の日付は告示日(11月中旬を予定)となります。 記 1 山口市指定文化財の指定 1件 しほんぼくしょはくいん え かくぼくせき じゅじ えんどんしょう ・紙本墨書白隠慧鶴墨跡(壽字円頓章)明和四年の年紀がある (書跡) 【山口市文化財審議会】 ・委員9名、会長：つばごうひでひこ 坪郷英彦氏 ・会長コメント 「今回教育委員会から諮問を受けた、常栄寺の紙本墨書白隠慧鶴墨跡は、白隠の晩年の貴重な作品であるとともに、常栄寺との関係をうかがうことのできる文化財であることなどから、審議の結果、市指定文化財への指定を答申いたしました。今後は、市指定文化財として適切に保存・活用が図られ、未来へと継承されることを望みます。」 写真データの提供を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。
4 問い合わせ	山口市教育委員会事務局 文化財保護課(担当：満瀬) 電話：083-920-4111 Mail：bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp

件名「山口市文化財審議会の答申について」添付資料

しほんぼくしょはくいん えかくぼくせき じゅじ えんどんしょう
紙本墨書白隠慧鶴墨跡(壽字円頓章)明和四年の年紀がある

- | | |
|------|---|
| 種 別 | 有形文化財(書跡) |
| 所在地 | 山口市宮野下2001番地1 |
| 所有者 | 宗教法人 常栄寺 代表役員 今井晴夫 |
| 特 徴 | 紙本墨書白隠慧鶴墨跡(壽字円頓章)明和四年の年紀がある 1幅

本資料は、仏教書「 <small>まかしかん</small> 摩訶止観」を要約した「円頓章」を記したもので、中央に壽の字を大書し、壽の字を取り囲むように円頓章を書き連ねている。作者である白隠慧鶴(1685～1768)は、江戸時代中期の臨済宗の禅僧であり、
<small>めいわだいよんひのといぶつじょうどうび</small>
「明和第四丁亥佛成道日」の年紀から、明和4年(1767)12月8日に書かれた白隠晩年の作であることが分かる。

白隠慧鶴は、当時曹洞宗などに比べて衰退していた臨済宗を再興させたことから、臨済宗の中興の祖とも称される。また民衆への布教に努め、多くの書画を残している。 |
| 指定理由 | 本作は、白隠の最晩年の作と分かる貴重な書である。また同じ臨済宗である常栄寺に伝わるものであり、白隠と常栄寺住職との関わりをうかがい知ることのできるものとしても貴重である。 |

【写真】

